

ワークサポート小委員会 (主催)

(仮題) 働くママ養成講座 リモートワーク体験セミナー企画書

文書作成者：委員長 山下 謙治

作成日時：2019年10月27日

1. [企画]

(仮題) 働くママ養成講座 リモートワーク体験セミナー

2. [背景・目的]

背景・目的)

国立社会保障・人口問題研究所が子どもを産み終えた無職の女性を対象に、今後の就職希望の有無について調査を行った結果によると、86.0%の女性が何らかの時点で就業を希望している。仕事をしたい最大の理由については、52.1%が収入の確保や貯蓄のためなど経済的な理由をあげている。また、多くの女性が、パートやアルバイト、派遣社員での雇用を希望しているという事実があり、その数は全体の87.5%にも及ぶ。

実際に、一昨年と昨年、議案書作成人の事務所で在宅ワークの求人募集をかけた際に、熊本市のフリーペーパー「スパイス」に求人かけた際に1回1週間の掲載で100件、120件程度応募が集まり、在宅ワークでの求職を希望している人が多いことが分かっている。

企業としても、人材不足による生産性の低下を防ぐ手段として今後、積極的に活用を検討する企業が増えてきている。

総務省もテレワークを積極的に推進する企業を表彰する制度を設けたり、テレワークを推進する専門家を企業に派遣する事業が開始された。国も積極的に推進している状況である。

在宅ワークの担い手を増やす為の課題の一つとして、就労者や失業者が在宅ワークの経験がなく、どういったキャリアやスキルが企業から求められているのか？どのように在宅ワークでの仕事を探することができるか認知されていないことがある。

その課題の解決策としてワークサポート委員会が、在宅ワークに興味のある、主に子育て中のママを対象に、在宅ワークをクラウドのTV会議やチャットやグーグルの無料ソフトを使用して、実際に体験就業できる研修の機会を設ける。

また、実際に在宅ワーカーを受け入れている企業人事担当者からどういったキャリアやスキルが求められるか話をってもらう機会を提供し、かつ、仕事探しをどのように行うのかレクチャーし、就業機会を増やすとともに、働きたくても働けない子育て中のママへの就業機会の提供と、県内企業の人材不足、生産性の低下の課題解消を担うことを目的として本事業を行う。

3. [概要]

主に働きたくても働けない子育て中のママへの在宅ワークの体験就業と仕事探しの方法をレクチャーするセミナー

4. [実施日時]

20 年 月 日() : ~ :

5. [実施場所] (案) 熊本市内で交通アクセスの良いパソコンが 20 台ほど完備された民間パソコンスクールや派遣会社の教室

6. [集客手段]

県や市の広報紙へ封入依頼、ハローワークにチラシ設置依頼。スパイス、フェイスブック広告により、リモートワーク体験セミナーの広告を出して集客する。

7. [セミナーの概要]

- ・参加費無料
 - ・定員 45 名程度。
 - ・開催場所 熊本市内で交通アクセスの良いインターネット環境があるパソコン 20 台設置されている会場
 - ・インターネットの回線の繋がったパソコン 1 台あたり 3 名の受講者が体験ワークをしてもらう。時間は受付 13 : 00 ~ 開始 13 : 30 ~ 終了 16 : 00 まで

 - ・テレビ会議ソフト ZOOM とグーグルのスプレッドシート (クラウド上の共有エクセルシート) とチャットワーク (すべてフリーソフト) を実際に使用して簡単な入力作業を交代で行ってもらう。
 - ・県内企業で在宅ワークの積極的に雇用を進めている企業の人事担当者から在宅ワークに求められるスキルやキャリアについて説明をしてもらう時間を設ける。
 - ・一般的に在宅ワーカーが請け負える仕事の紹介と、仕事探しの方法についてレクチャーをする。
-